

# 消費税に頼らない財源対策を！③ 富裕税の復活



遡ること1950年、我が国では実際に所得のみならず、預貯金や株式、有価証券にも課税する資産課税が導入されました。しかし、実際に個人資産状況を把握するのは困難であったため、1953年には廃止となった経緯があります。

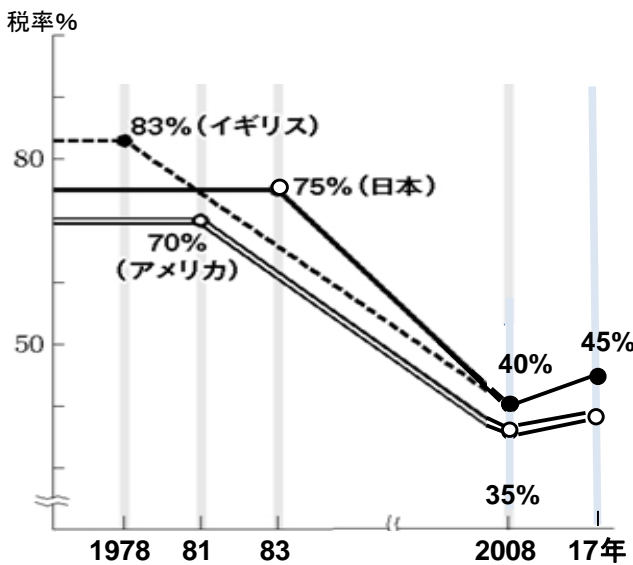
昨今の日本を見た場合、格差が益々拡大傾向にあり、所得の再分配機能が著しく低下しております。なおかつ、税制上、金融商品が分離課税される関係上、例えば株での配当やキャピタルゲインなど不労所得を得ている人は、実労働所得で生活している人比べて税負担はかなり優遇されております。ある統計では、所得100億円の人の

税負担は20%以下という試算もある位です。

昨今のマイナンバー制度の活用を通じて、個人資産状況が相当程度ガラス張りになれば、過去の失敗を取り戻すことが出来るかも知れません。既にいくつかの国々では採用中ですし、オランダでは「資産所得」という概念での税改革が行われ、またスペインでも「期限付き富裕税」を復活させました。

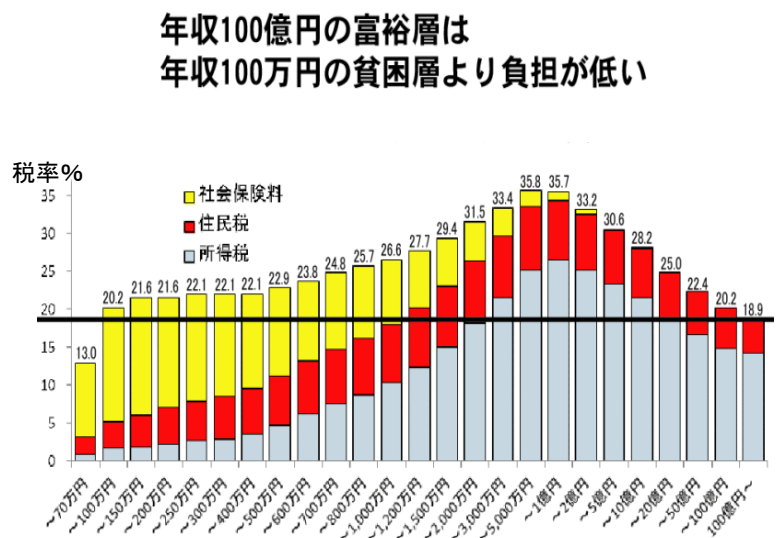
そもそも我が国において分離課税方式を抜本的に改めることや、贈与税と相続税の関連性の強化を図ること等、所得と資産のあり方そのものを見直す時期にきているものと思われま

【所得税最高税率の推移】



出典：日本にも富裕税の導入を！のHPより

【申告所得に対する税・社会保険負担率】



出典：すくらむ 世界第2位の富裕層が3.5%税負担

「対峙の年」  
2018年はどのような年になるのだろうか？ 世界は、そして日本は……。  
社会全体に対して余裕がなくなってきたと思えない。寛容の薄れた米国第一主義と、一帯一路を軸に国際影響力を拡大する中国、そして自製の意思が無いことが確かになった北朝鮮。これらに狭まれ、飲み込まれないように対峙する日本の外交力が試される年となるのではないだろうか。  
日本国内では、経済政策の思惑が外れ物価だけが相次いで上昇、お米、野菜、魚、ガソリン、など。また、安全・安心は払拭されず生活不安が押し寄せており、デフレ脱却は程遠いと感じられる。  
そんな中で、面白い話題と云えば、平昌冬季五輪での日本選手の活躍が期待できること。サッカーW杯も楽しみ。そして、民進党の「一強政治を変えるため、生まれかわって立ち上がる」決意を示し始動したこと。忬度政治安倍政権の暴走を止めるためにも、民進党の再出発を期す活動に期待していると思う。  
そして、第5区総支部の体制立て直し・拡大に向け、一意邁進する水戸さんをMチーム一丸となつて協力していきたい。

水戸応援団

Mチーム 益田 正廣

今月の  
水戸まさし応援団

◆事務所

〒245-0008  
横浜市泉区弥生台26-6  
TEL: 045-814-3001 FAX: 045-814-3007  
メール: kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>  
◆Face Book: 「水戸将史」で検索  
◆Twitter: @mito\_kickoff  
◆メルマガ: 登録はHPから